

## News Release

2021年1月28日  
NITE ( ナ イ ト )

独立行政法人製品評価技術基盤機構



## 冬の死亡事故に注意！

全国では除雪機で19件、一酸化炭素中毒で17件  
 ～除雪機の安全装置を正しく使う、発電機は室内で使用しない、  
 温水機器や暖房器具使用時はこまめに換気する。～

## 1. 事故の発生状況

2010年度から2019年度までの10年間にNITEに通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で除雪機などでの事故、雪・凍結に伴う事故は6件<sup>※2</sup>、一酸化炭素中毒の事故は1件<sup>※2</sup>ありました。

## 1-1 除雪機などでの事故や積雪、凍結により発生した事故

## (1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 除雪機などでの事故、雪・凍結に伴う事故の県別年度別事故発生件数

(2010～2019年度)

発生年度	富山県	石川県	福井県	合計	
2010年度	1	0	1	2	
2011年度	0	0	0	0	
2012年度	0	0	0	0	
2013年度	1	0	0	1	
2014年度	0	0	1	1	
2015年度	1	0	0	1	
2016年度	0	0	0	0	
2017年度	0	0	1	1	
2018年度	0	0	0	0	
2019年度	0	0	0	0	
合 計	事故件数	3	0	3	6
	火災件数	[3]	[0]	[3]	[6]

※1: 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2: 重複、対象外情報を除いた事故発生件数

## (2) 県別の被害状況別事故発生件数 (表 2)

表 2 除雪機などでの事故、雪・凍結に伴う事故の県別被害状況別事故発生件数  
(2010~2019 年度)

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	1	1
	軽傷	1	0	0	1
物的被害	拡大被害	1	0	2	3
	製品破損	0	0	0	0
被害なし		1	0	0	1
合計		3	0	3	6

## 1-2 一酸化炭素中毒の事故

## (1) 県別の年度別事故発生件数 (表 3)

表 3 一酸化炭素中毒の事故の県別年度別事故発生件数 (2010~2019 年度)

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2010 年度		0	0	0	0
2011 年度		0	0	0	0
2012 年度		0	0	1	1
2013 年度		0	0	0	0
2014 年度		0	0	0	0
2015 年度		0	0	0	0
2016 年度		0	0	0	0
2017 年度		0	0	0	0
2018 年度		0	0	0	0
2019 年度		0	0	0	0
合計	事故件数	0	0	1	1
	火災件数	[0]	[0]	[0]	[0]

## (2) 県別の被害状況別事故発生件数 (表 4)

表 4 一酸化炭素中毒の事故の県別被害状況別事故発生件数 (2010~2019 年度) ※3

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	1	1
物的被害	拡大被害	0	0	0	0
	製品破損	0	0	0	0
被害なし		0	0	0	0
合計		0	0	1	1

※3: 表 4 において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 主な製品事故事例

## 2-1 除雪機などでの事故、雪・凍結に伴う事故

○電気融雪装置の電気配線が長期使用により絶縁劣化し火災が発生した事故

・2015 年 1 月（福井県、女性、80 歳代、拡大被害）

## 【事故の内容】

電気融雪装置を使用中、電気融雪装置及び周辺を焼損する火災が発生した。

## 【事故の原因】

事故は、電気融雪装置の長期使用（約 28 年）により、外装絶縁樹脂が劣化・破損するとともに水分がカシメ部に浸入し、当該部分が腐食による抵抗増加で異常発熱した、又は、浸入した水分によりリード線絶縁被覆が劣化したことでトラッキング現象を生じ、周囲の樹脂に着火したものと考えられる。

## 2-2 一酸化炭素中毒の事故

○ガス瞬間湯沸器の排気筒が閉塞されて不完全燃焼となり一酸化炭素濃度の高い排気ガスが室内に流入して発生した事故

・2012 年 12 月（福井県、男性、50 歳代、軽傷）

## 【事故の内容】

ガス瞬間湯沸器を使用して入浴中、気分が悪くなり 2 名が病院で CO 中毒と診断された。

## 【事故の原因】

ガス瞬間湯沸器は半年間使用されておらず、その間に排気筒トップ内部に鳥が巣を作っていたため、排気筒が閉塞して不完全燃焼となり、一酸化炭素濃度の高い排気ガスが、室内排気筒接続部のゆるんだ箇所から室内に流入・滞留し、これを吸入したことによって CO 中毒に至ったものと考えられる。

### 3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」+「NITEのロゴ」として  
ください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 樋口、塚谷

電話 : 076-231-0435

以上